

前立腺癌に対する遺伝子治療の戦略

抗腫瘍免疫の活性化

- ・自殺遺伝子: **HSV-tk** (終了)
- ・免疫賦活: **IL-12** (5月13日開始)
- ・脱がん化: **REIC/Dkk-3** (実施申請中)
- ・腫瘍融解ウイルス: **Telomelysin** (研究中)

治療遺伝子の
前立腺内注入

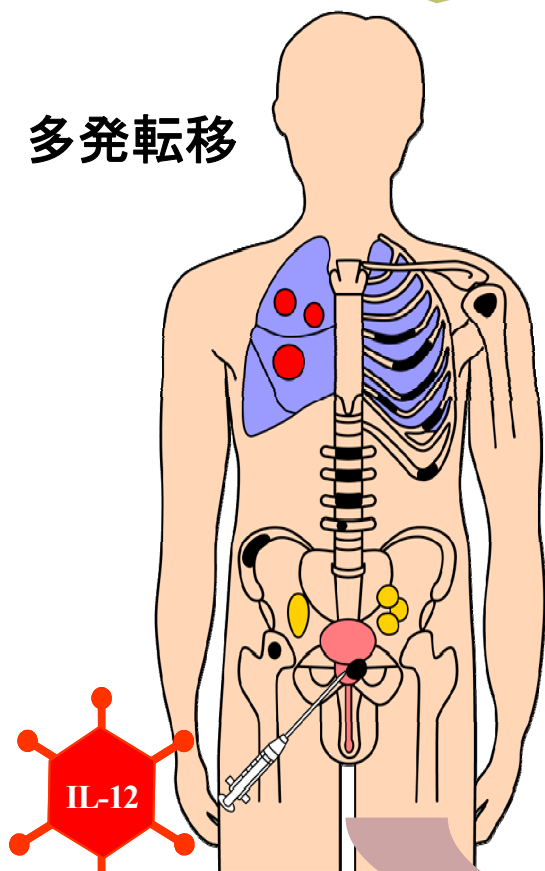


前立腺がんに対するIL-12免疫遺伝子治療

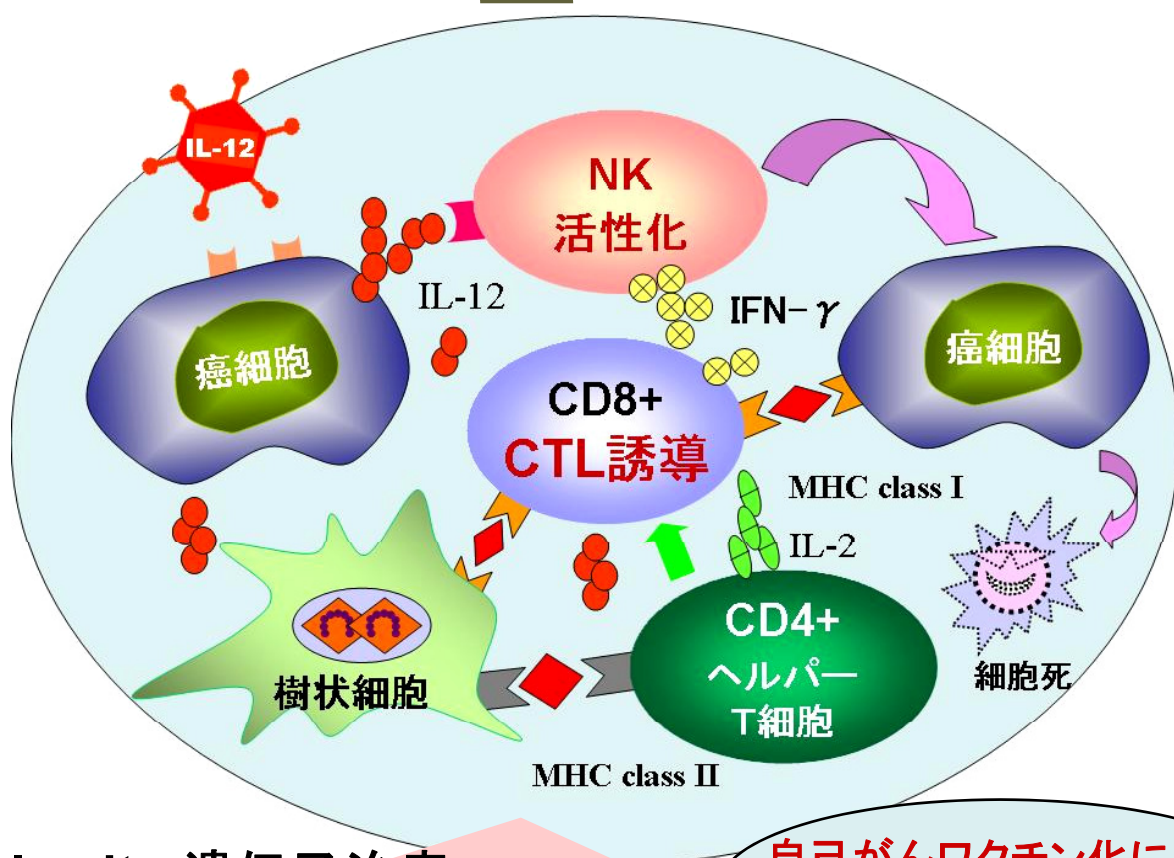
限局性前立腺がんから
進行性がんまで

全身抗がん効果の発現

多発転移



治療遺伝子IL-12

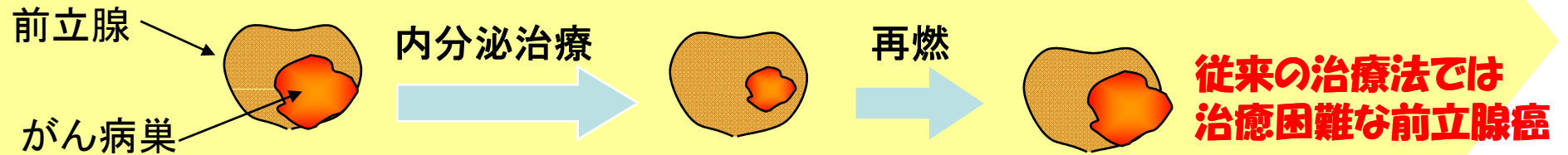


In situ 遺伝子治療

自己がんワクチン化による
前立腺がん根治の可能性

前立腺癌に対するIL-12 遺伝子治療の対象症例

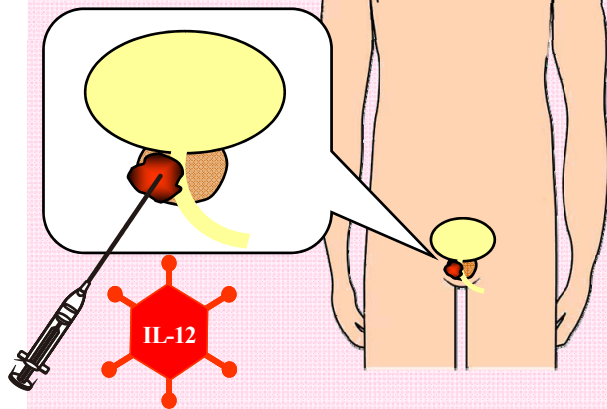
遠隔転移の有無にかかわらず、内分泌療法中に再燃してきた前立腺癌症例



遠隔転移のない症例

内分泌療法抵抗性
局所再燃前立腺癌

前立腺癌に注入



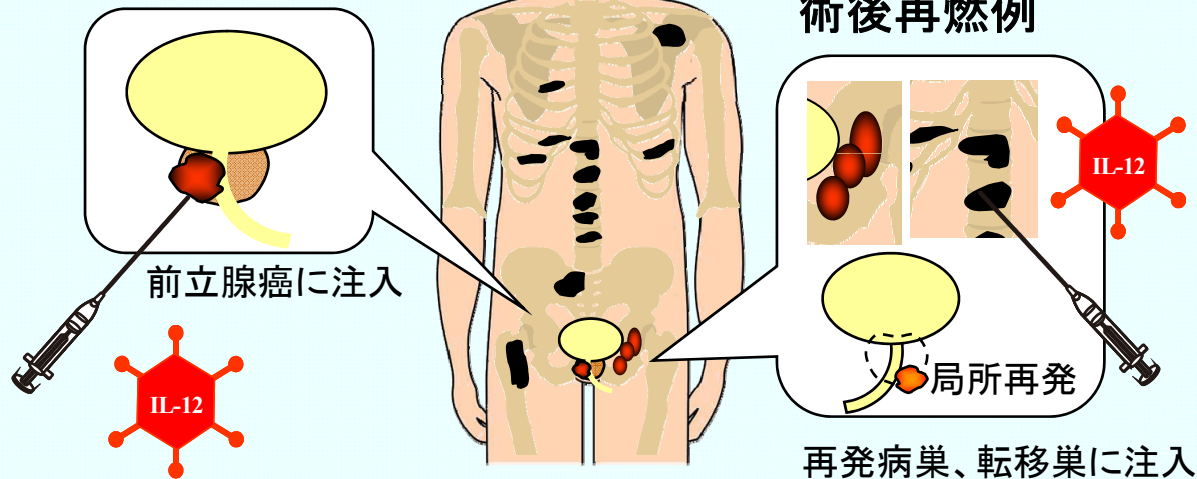
遠隔転移のある症例

前立腺摘除術
術後再燃例

前立腺癌に注入

局所再発

再発病巣、転移巣に注入



全身性抗がん免疫活性化作用を有する制がん作用

前立腺癌に対するInterleukin-12 遺伝子発現 アデノウイルスベクターを用いた遺伝子治療臨床研究

目的：安全性・最大耐量の確認、治療効果・免疫学的反応の観察

対象：内分泌療法抵抗性再燃前立腺癌（転移症例を含む）

1) 内分泌療法抵抗性**局所**再燃癌

2) 内分泌療法抵抗性**転移性**再燃癌

初診時有転移症例

根治的全摘後の局所ないし遠隔転移（軟部組織を含む）症例

治療スケジュール：4週間毎の3回投与(intra-prostatic injection)

予定患者数：6段階のdose escalation study 各レベル3-6名

(2008. 2.6実施承認)